

広報 もりよし

発行編集・森吉町役場企画開発課
印刷所・米内沢中央印刷所

No. 251

1978. 10. 15



交通安全子ども大会

意見発表や自転車競技

「子どもの交通事故ゼロをめざそう」Ⅱ第八回森吉町交通安全子ども大会と第二回交通安全子ども自転車

競技大会は、九月二十八日午後一時から前田小学校で開催されました。町長や阿仁部交通安全協

会長のあいさつに続き、意見発表として米小六年村岡俊彦君が「車につつまれた集団登校」、前小六年三浦慎吾君が「交通事故にあわないために」、浦小六年加賀久美子さんが「私たちの交通」、森小六年播磨京子さんが「交通事故のない生活」をそれぞれ発表した。続いて森吉警察署長の講話があり、その後、前小児童会長の岸野敬治君が決意

表明をして閉会しました。大会に続き午後二時から、交通ルールの知識と正しい自転車の乗り方をききう競技会を行った。各校から四人で一チームを編成し、法規二十問と実技テストを行いました。

成績は次のとおりです。

(団体)

一位：米内沢小Bチーム

(庄司 昭、近藤広行、村岡俊彦、木村昇一)

二位：米内沢小Cチーム

(柴田英明、佐々木邦裕、松橋祥樹、白沢 稔)

三位：米内沢小Aチーム

(片岡慎一、木村昌人、福田 亨、金田行雄)

(個人)

一位Ⅱ柴田英明(米小)

二位Ⅱ近藤広行(〃)

三位Ⅱ高橋美紀子(前小)

米内沢高校吹奏楽部

定期演奏の お知らせ

とき 10月28日(土)

1時30分～3時30分

5時30分～7時30分

ところ 米高新体育館

入場料 150円

(鷹巣阿仁部では初めてのステージドリルを計画しています。多数おいでください。)

中小企業者の お役に立つ制度

中小企業者の方が取引先企業の倒産により、売掛代金の回収に困難が生じたり、資金繰りが苦しくなり、この結果不幸にして自らも倒産のやむなきに至る例が少なくありません。この共済制度は、こうした取引先企業の連鎖倒産に備えるもので、概要は次のとおりです。

- (1)加入できる方は、引き続き一年以上事業を行っている中小企業者です。
 - (2)毎月の掛金は5千円、1万円、1万5千円、2万円のいずれかを自由にきめ、掛金総額が120万円まで積み立てられます。
 - (3)加入後6か月以上経過した加入者の取引先企業が倒産し、売掛金債務等の回収が困難となった場合に、その額が積み立てた掛金の合計額の10倍の額とのいずれか少ない額の共済金の貸付けが受けられます。
 - (4)納付した掛金は、税法上必要経費または損金に算入。
- ※ くわしくは、県の商工担当課、商工会などへ。

重点目標

- 暮らしの中の防火管理体制づくり
- 人命安全の確保

推進事項

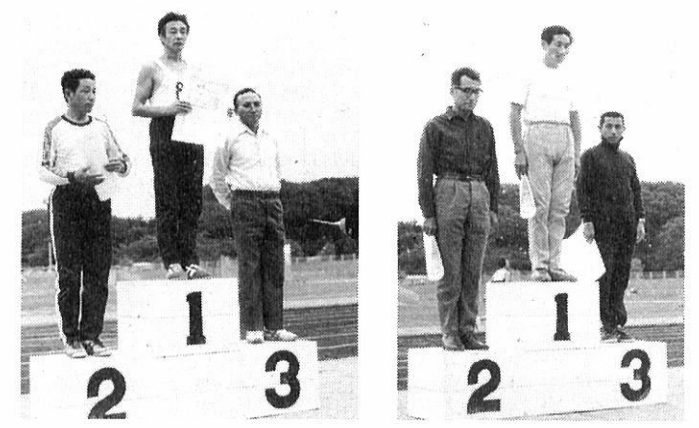
秋の火災予防運動

11月12日(日)～18(土)

それぞれの持場で生かせ
火の用心

- (1)家庭
 - ストーブなど暖房器具は説明書に従って正しく使用しましょう。
 - 石油ストーブは耐震型のもので使用しましょう。
 - ふろの空たきに注意を。
 - たばこの投げ捨てや寝たばこはやめましょう。
 - 消火器や消火バケツを備えよう。
 - 老人、子ども、病人は避難しやすい場所にやすませましょう。
 - 身体の不自由な人や子どもだけを残して外出することはなるべくさける。
- (2)職場
 - 火気の使用、取り扱いの責任を明確にしておきましょう。
 - 消火設備や避難設備などについて点検し、いつでも使えるようにしておきましょう。

- (1)家庭
 - ストーブなど暖房器具は説明書に従って正しく使用しましょう。
 - 石油ストーブは耐震型のもので使用しましょう。
 - ふろの空たきに注意を。
 - たばこの投げ捨てや寝たばこはやめましょう。
 - 消火器や消火バケツを備えよう。
 - 老人、子ども、病人は避難しやすい場所にやすませましょう。
 - 身体の不自由な人や子どもだけを残して外出することはなるべくさける。
- (2)職場
 - 火気の使用、取り扱いの責任を明確にしておきましょう。
 - 消火設備や避難設備などについて点検し、いつでも使えるようにしておきましょう。



▲松橋竹次郎さん

▲杉田定之助さん



柔道選手のみなさん

第八回県民スポーツ大会は九月九日、十日の両日秋田市で開催され、森吉町からは陸上、卓球、剣道、柔道、テニス、バレーボールなどに五十八名の選手が参加しました。

県民スポーツ大会 陸上・柔道で優勝

陸上種目では、杉田定之助さんが男子二千五百メートルで五年連続優勝したほか、松橋竹次郎さんが八百メートルに初出場し大会新記録で優勝、宮野順一さんも八百メートルで優勝するなどの活躍でした。



森吉山町民登山

晴天に恵まれた町民登山は、例年になく稲刈りが早かったり行事と重なったりで、参加者は二十四名と少なかつたが、今年は上り下りを別コースにしたので変化に富んだ登山でした。

参加者も小学二年生から六十九歳までとあって、お互いにはげまし合いながら楽しく自然を満喫しました。また、同日は森吉小の全校

目優勝、剣道も善戦して準々決勝まで進んだので、来年度に期待をかけた。

住民登録人口

昭和53年9月末現在

人口 男 5,361 (-11)
女 5,772 (-14)
計 11,133 (-25)

世帯数 2,758 (-5)

体育行事(11月予定)
夫婦バレーボール大会
上旬(米内沢・前田)

森吉町議会定例会

道路などに三千九百万円

第六回森吉町議会定例会は、九月十九日から二十一日まで開かれ、一般会計補正予算など予算関係二件、………条例改正など四件、ほかに陳情、請願などを審議して………閉会しました。主なものは次のとおりでした。

●昭和五十三年度森吉町一般会計補正予算
七千六百八十九万七千七百円
の追加で、予算総額は二億三千四百八十八万八千二百一十円となり、主なものには次のとおりです。

●総務費
コンピュター関係二百七十九万円、役場庁舎会議室補修関係二百二十万円、※農林水産費
平里地区農道舗装五百万円、※土木費
除雪車除雪準備機クイッククラブ百一十万円、道路工事請負費五百七十九万七千円、道路新設改良費八百三十八万三千円、公有財産購入費百六十八万八千円、湯ノ岱橋架替千四百五十万円、御嶽中橋百四十九万八千円、※消防費
広域消防費負担金四百二十一万四千円、支那地区消火栓用ホース、ノズル八十五万五千円、※教育費
森吉小工事関係百七十二万円、中学校々門建設ほか百十五万円。

●昭和五十三年度森吉町簡易水道特別会計補正予算
三百二十四万三千円の追加で、浦田地区配水管移送工事費二百九十万円が主なものです。

●森吉町国民健康保険条例の一部を改正する条例
社会保険で助産費が支給される場合は、国保では支給しない規定を加えた。

●併用林道協定解除
湯ノ岱から川向湯ノ沢までの六百メートルを解除。

●町道路線の認定
桂坂公園線(阿仁前田字大道上二二四の一から同二二二までの二百五十五メートル(幅員四メートル))

●陳情・請願
●財産区土地に「平和慰霊植樹」について：秋田県軍人恩給連盟森吉支部長(採択)

●幼児の安全通園のための施設の整備について：米内沢学校通り自治会長ほか(採択)

●継続審議となっている健康保険法の改正案の反対決議について：秋田県民生医療機関連合会々長ほか(採択)

●石森林道の開設について：米内沢本郷部落会長ほか(採択)

●公園の設置について：同右(継続審議)

●一般消費税の新設に反対する請願書：森吉地区労働組合協議会議長(採択)

●風俗営業建物建築反対に関する請願：森吉町PTA連絡協議会ほか(採択)

●松葉地区内に「カーホテル」建築反対請願：松葉部落代表(採択)

●本城農村基盤整備事業に係る地元負担軽減方について：本城部落代表(採択)

●農業共済組合併助成について：農業共済組合長(継続審査)

●議員提出
●阿仁川ダム問題について極左暴力集団介入排除に関する決議

●健康保険制度の改正に反対する意見書提出

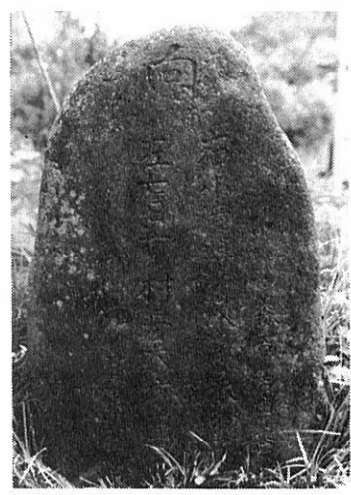
●一般消費税の新設に反対する決議

全国防犯運動 戸締りを完全に

秋は農作業や行楽のため留守がちになり例年より多発する盗犯や火災の発生が多くなります。これを未然に防止するため森吉警察署では管内の各町村、各種団体とタイアップして、次のことを重点として運動を進めています。

▼窃盗犯の予防
●家を留守にする機会が多くなります。戸締りを完全にし、隣近所へ一言頼んでから出かけよう。
●夜間農家を狙う侵入窃盗事件が多発しています。夜休む時は戸締りを完全にし被害にからないようにしましょう。
●あき果は留守宅を捜し侵入します。留守をさとられないように牛乳、新聞などは何日分もためておかないようにしましょう。
●会社、事業所、事務所、スーパーなどの被害がふえています。夜間、休日等は戸締りを完全にし、現金は絶対置かないように。夜間無人となる所では警報装置を。

▼自動車、自転車等の盗難防止
●自動車に鍵を付け放しにしない、無施錠のまま外に置かないように。
●自転車、バイク等は外に放置せず必ず屋内に収納しよう。
●自転車には必ず防犯登録をしましょう。まだ登録していない方は近くの自転車店で登録して下さい。



森吉の道標

森吉部落駐在所の裏側、鷹森林道起点から西に約十メートル、旧道沿いに雑草にかこまれてこの道標が立っている。高さは地表上九十一センチ、幅五十七センチの自然石で、台石はなく下部が土中にかかり埋められている。

もれていて、この部分に彫られている文字も何字かあるようだが、解説不能なのが残念だ。

文字の刻まれているのは正面だけで、次のように読める。

森吉吉田善治

昭五年七月二十〇日
石の道しるべは江戸時代にはじまったものだが、この道標のように昭和の年代に入ってから建てられたのも珍らしいのではないだろうか。それだけに道標を必要とするほど不便であった当時のこの地方の道路事情が想像される。いまは太平湖の水底深く沈んだ部落「砂子沢」の文字が強く印象に残る。

文化財保護審議委員
金 豊助

向而
右小滝湯ノ沢温泉
砂子沢二〇〇
左七日市村舟木方
面二五〇〇
由利郡石工
昭五年七月二十〇日

第一席 私達の義務



桜井 真紀子

米内沢城主嘉成氏の時代といえ、源頼朝時代をさす。西暦一九二二年以後のことである。嘉成氏は一六〇二年関東へ去り、ちょうどその年、秋元源之丞翁が本城へ移り住み村長におされ、代々その職を継いでいる。

生まれる。 こうした数々の人のおかげで森吉町の郷土史はつづられていく。米内沢城のあったころから現在に至るまで実に七百年の年月が刻まれている。これだけの長い歴史。ここまでくるのにわが町の先輩はどんな苦労をどんな精神で乗り越えてきたのだろうか。

阿仁川はん乱の時、その復旧工事にまさに祖父、父子と三代がかりで取り組み秋元源之丞辰辰良の代でやっと完成させる。辰辰良は、その後相次ぐ山くずれに自らの山地を農民に与え、植樹を奨励したり、天明三年の大飢饉の際、たくわえの食糧、金銭をすべて分け与えたりして、ひたすら村を守るために尽力した。わが森吉町はこのような人々の郷土を愛す心によって助けられ、支えられて現在に至っているのではないか。

品種改良、湿田乾田化に力を注ぐ。自ら労働し、村民の模範となり、また農事上に関するは極力注意を払い、改良工夫を凝らした。特に「恵比寿橋」と命名した米の抜穂改良、大部分が湿田だった郷村を数年ならずにして乾田にかえた業績、そして「亀の尾」の普及は記念すべきものだ。翁のこれらの業績はそのま東北に生きる農民の生活レベルをあげ、増収を見込ませることによって翁はまさに救世主のようだったろう。

間の問題かもしれない。このことを私たちは真剣に考えなくてはならない。長い間つちかわれてきた郷土を愛し、郷土に尽くす心を後世に伝える大事な義務があるから。私にとって愛せる町、愛される町が生まれなければならない。もうそれで満足な郷土になる。しかし人間、満足だけでは生きてゆけないからやはり賃金の得られる場所が必要となる。今、Qターン現象といわれる若者の移動が目立ってきているという。都市から郷土にもどっても職が見つからないので再び都市に帰るといふ、若者が「職を求めて」さすらう動きをQにあてはめたものだ。私が思うに郷土が過疎化をくいめたいと願っているなら、職をふやすことを考えればよい。郷土を発展させたいなら人をふやさないといけない。そのためにはまず自分たちは町がどうなれば永住しようと思うか、それを考えてみて、今度はそのイメージと現在の森吉町とをダブらせる。そうして足りない点を発見し、そこを徹底的に補う。発展させる。こういう気持ちが大切なのではないだろうか。私の森吉町の未来像は、「生きてゆくための施設が整っていて十分な緑と人々の信頼感。いつも笑ってすごせる明る



庄司 真澄

い町、愛せる町」である。私たちの森吉町を守り、支えてきてくれた人々の尽力を忘れることなく、そうした心を残し続け、また一方では人々の欲求にあった近代化をおし進めることができるそんな町にしたい。

第二席 町のために

わたしは今年森吉中学校に入学した。そして「JRC」活動など、森吉町全体のために尽くすことを学んだ。わたしはこの町を「美しく、住みよい町」にしたいと思う。そのために森中では「JRC」活動を行っている。すばらしい町にするためには町民全員がそうしようという努力しなければならない。 第一に「ゴミのない町」ということだ。これはゴミを集める車が一周間に一回まわっている。それに燃えるゴミなどは自分の家で焼いたりして始末している。このようにゴミの始末はだんだんよくなってきている。でも、米内沢から見ると阿仁川は全くきれいだとは言われない。それはきちんと決まった所に始末している住民の中に、完全に始末していない住民がいるということだ。そうでなければなんともないと思ってしまう。アイスクリームの袋など小さなゴミが集まって、よごれのもとになっているんだと思う。 今はまだ、平気で道路などにゴミを捨てる人がいる。

羽後銀行 開設50周年記念 米内沢支店 作文コンクール入選作品

もし、こんな人が増えたりしたらどうなるだろう。森吉町は「ゴミの町」になってしまうだろう。そうなる前に、町民が気を付けたらいいと思う。ゴミは絶対に捨てない、落ちていたら拾うなどの活動をしなければならぬ。そして十年後、二十年後と年がたつにつれてだんだんゴミのない、きれいな町にしたいと思う。 第二に「事故のない町」ということだ。森吉町は事故がだんだん増えてきている。これは、「これくらいは」と思ったスピードの出しすぎや気のゆるみからくるものだ。本当に森吉町民が全員気を付けていれば事故は一つも起こらないと思う。私たちが交通安全規則を守らなければならぬ。事故がなければこの町はともよ町になるだろう。

町にしたい。それにこのすばらしい緑の自然をこわしたくない。でも、今の私たちには防ぐことはむりだと思ふ。できることは、自分から公害のもしないこと、つまりゴミを捨てるなど活動するの活動がすばらしいと思う。 第三に、「おたがいに助け合い、励まし合う町民」ということだ。「お互いに助け合い、励まし合う」ということは、心の明るさややさしさを持っていないとばならないと思う。心の明るくやさしい人が、知らない人と友達になる。その人がやさしいから周りの人もみんなやさしい人になる。私達も友達の輪を広げて、心の明るくやさしい人になるよう努力し、お互いに助け合い、励ましあえる町民

を増やしていかなければならない。今は自分自身がそんな人間になることが大切だと思ふ。 このように、「ゴミのない町」、「事故のない町」、「心の通い合った町民」の三つが将来この町が発展するものとしたらきつとすばらしい町になると思う。県一、いや日本一の町にだってなれるだろう。そのために今私たちが、「JRC」活動を一生けん命やらなければならない。たとえば、ゴミが落ちていたら拾う。バスの中ではお年寄りに席をゆずる。人が困っていたら助けてやる、などだ。一生けん命努力して二十年後、三十年後にはすばらしい町にしたい。

老人いるが」と。そしたら父はひとり暮らしで寝たきりの人が三人くらい、家族と生活を共にして寝たきりの人が三十人くらいいることを教えてくれました。そして、この老人を世話するヘルパーの人が二人しかいないことも加えて教えてくれました。父のことばのひとつひとつが私には信じられませんでした。 私はこの十五年間自分の町には寝たきり老人がひとりもないだろうと思いつけてきたのです。だから、父からこのことを聞いたときはかなりショックでした。 さいわい私の家の近くには寝たきり老人がいないのでどんな生活を送っているのかはよく知りません。でもきつと私の想像を絶するほど苦しい毎日を送っている人が中には必ずいるはずだ。ヘルパーの人をふやしたらいくらかは楽になるだろうにどうして町ではふやしてくれないのだろうか。父は「お金がないから」などと冗談めいたことを言っていたが、ヘルパーがたった二人というのにはびっくりした。二人というのにはびっくりした。父が言うにはひとり暮らしで寝たきりの老人が三人だからヘルパーは二人でいいのだということだ。それに家族と共に生活している寝たきり老人にも、時々世話すると

いうことです。これを聞くとなるほど思えてきたりするが、やっぱりどうして私には納得がいかない。でも町でもいろいろ考えたいのでこんな方法をとっているのだから、町が悪いとばかりも言っているのではない。父が言った「お金がないから」という冗談めいた言葉の中にやはりことうするしかないのだという意味が含まれているのだろうか。 私には老人ホームはない。老人が月に一回くらい集まって同好会的なものはやっているらしいが。「老人ホーム」この言葉は聞いた老人にはどんなふう聞かせるのだろうか。多くの老人はこれをきいたら「老人ホーム」なんてところには入ってほしくありません。これだから、十年、二十年と年がたつにつれて、寝たきり老人はふえていくように思われます。そして、いつの日にかこの町にも老人ホームのできる日が必ずやってくるでしょう。これは当然のこととして考えるしかないのではありません。 この時期に社会人になっていく私にはこんな問題がどうして私に受けとめるのだろうか。私が大人になるといふことは自然に私の父母も年をとるのです。母

は時々こんなことを口にする。 「おれのごとあまってきたら老人ホームさでも入れでけれ」と。これが母の本心だとしたら、子供の私にとってこんなに悲しいことはありません。 人はいつか年をとってこの世を去っていきます。だから寝たきり老人のことは決して他人ごとと考えることはできないのです。学校から帰る途中いつも石にポツンと寂しそうにすわっている老人を見かけます。この老人を見るとこの人はいつも何を考えているのだろうと思わずにはいられませぬ。将来自分もあんな姿になってしまふのだろうかと思ふとゾッとします。 私の町は小さい町です。小さい町だけと老人も若者も楽しい一生を送れるそんな町にできそうな気がしますが。そんな町が私の理想です。寝たきり老人の生活がいくらかでも今より楽になるように、そしてこの町の自然、人と人との交わりはいつまでも消えることのないようにと心の中で思いながら生活していこうと思ひます。



春日 葉子

第三席 老人の生活を楽しく

私はこの町が好きです。大好きだけれども私は自分の町のことをあまり知りません。医療施設はどうかとか、老人施設はどうかとか、教育施設はどうかとか、詳しいことは全くわかっていないのです。こんなことを

考えると改めて自分の視野のせまきにはずかしさを感じます。こんなことではこれから高校生、社会人になっていくうえでとても不安だと思ひ、ある日父にこんなことを聞いてみたのです。「森吉町、寝たきりの

私の町はできてまだ二十年たらずですが、この二十年間いちはんがなばってられたのは今私がいう老人です。老人の楽しい生活を私はいつも望んでいます。

ブロック塀・石塀は安全に建てましょう

- ①塀の高さは、ブロック塀なら2m以下、石塀なら1.5m程度以下に。
- ②道路に面するブロック塀は厚さを12cm以上とするよう心がけてください。特に軟弱な地盤のところでは道路に面するブロック塀は厚さを15cm以上にした方が安全です。
- ③塀は建物から50cm以上離しましょう。接近すると控壁もとれず、地震で建物がゆれて塀を倒すことにもなります。
- ④ブロック塀や石塀に鉄製のフェンスなどを取りつけると塀の安全性を害します。フェンスの取り付けにはそれなりの対策が必要です。



⑤間知ブロック、石積み、コンクリートなどの土留め擁壁の上に塀をつくることは危険です。止むを得ずつくる場合には十分根入れをした基礎を別につくらなければなりません。

小又川の 罅穴群



天然記念物指定になって小又川には、数多くの罅穴(おうけつ)群があり、さらに幾何学的に、岩層にそって水の流れる特異な溪流を流していることから、その景観とともに学術的にも全国に有名であるが、これは、もつと身近なところの驚の瀬の橋の上方、小又川にみる罅穴群であって、小又川の写真と間違われそうである。

量によってその姿は変化し、興味深い。写真は、森吉小近藤昭先生撮影のもので、ことしの七月末、渇水時の景観であるが、小又川はこのほかにも至る所に、眼をみはり、心をうつような景観をみせていて、十和田湖の奥入瀬に勝るとも言われ、この川辺をたどれば、ふだん見過していた身近なところ、素晴らしい観光の場のあることに気がつくのである。

土地や建物を売ったときの金



土地や建物を売ったときの譲渡所得にかかる税金は、他の所得と分離して計算することになっています。ところで、譲渡所得は「譲渡価額」(取得費+譲渡費用)÷譲渡所得の算式で計算しますが、譲渡した土地や建物をいつか

ら持っていたかによって、長期と短期に分けられ、それぞれ別の方法で計算します。長期譲渡所得とは、昭和四十三年以前に取得した土地や建物を売った場合の譲渡所得をいい、特別控除額として、通常の場合(1)〇万円を差引くことができます。

短期譲渡所得とは、昭和四十四年以降に取得した土地や建物を売ったときの譲渡所得をいい、長期譲渡所得のような(1)〇万円の特別控除はありません。なお、自分の住んでいる建物やその敷地を譲渡した場合、収用などのように特殊な譲渡の場合は、特別控除額が違います。

くわしいことは税務署や税務相談室におたずねください。
たばこは 町内から 買いましょう

図書館だより

△寄贈 (敬称略)
創価学会広報室：若き日の読書(池田大作)
森吉小学校：森小創立百周年記念誌「もろび」
松下電器産業：ボイス十月号(PHP研究所)
国民生活センター：くらしの豆知識
▽移管
町総務課：国勢総覧(国際連合通信社) 日本国会年鑑(国会年鑑編さん会) 自治大学校十年のあゆみ(自治大学校) デンカの歩み五十年(電気化学工業KK) 国際連合大観上下(日本国際連合協会) 農地改革頭末概要(農地調査会) 海底図鑑(佐々木忠義) 産業経済大観(庄司一夫) 工業技術研究所資料(工業技術調査会) 日本分県地図地名総覧(人文社) ドキュメント東京大空襲(雄鶏社) ほかに計二十

六
町教委：新聞をどう読むか(武田勝彦) 新聞とは何か(林三郎) 私の生涯教育(小畑勇二郎) 五十二年版私たちの税金(国税庁)
▽新規購入 (受入順)
(-) 一般図書
日本十進分類法新訂八版(もりよし) 棟方志功全集(講談社版) 抹香町(川崎長太郎) 第三期新秋田叢書(歴史図書社) 人間一過去現在未来(L・マンフォード) ある盲学校教師の三十年(鈴木栄助) 核先制攻撃症候群(R・C・オールドリッジ) 無重力の風土(三木賢治) 銃後の戦史(野添憲治ほか) 秋田の民話1かえる女房(野添憲治) 2さるのよめと(森川由美子) 3竜の子ども(藤内敬司) 4雨ごいの矢(沢木隆子) 5山鳥のおんが

ねんきん

かけ金は有利な前納で 納め忘れの心配無用

国民年金のかけ金は、毎月または三か月毎に納めることになっていますが、一年分をまとめて納めることもできます。農家の方は秋の米代金、サラリーマンの奥さん方はボーナスのときなどに一年分をまとめて前納しますと、かけ金が割引きされるほか手数がはぶけ、さらには納め忘れの心配もなく安心です。

請求を忘れずに いろいろな年金があります

- 国民年金は支給条件を満たしていても、ご本人の「裁定の請求」がないと受けられません。
- そこで、年金を受けられると思う人は、必ず住所地の市町村長に「裁定請求書」を提出してください。
- ※老齢年金 65歳になす通算老齢年金 ったとき
- ※障害年金 障害者になったとき
- ※母子年金 母子家庭に標準母子年金 ったとき

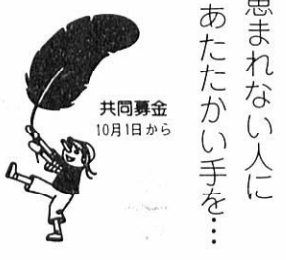
54年4月から 3,300円の計算です。

前納月	前納額	普通納付額	割引額
53年10月	35,260	36,180	920円
11月	35,820	36,750	930
12月	36,380	37,320	940

※付加年金の1年前納は4,680円です。



かけ金を25年以上完納すれば、65歳からゆたかな老後生活の核となる「老齢年金」を受けられます。月額25年納付でお1人37,925円。40年納付でお1人60,683円です。ご夫婦ではこの倍額になります。



恵まれない人に あなたがい手を... 共同募金 10月1日から 今月一日から共同募金運動が始まっています。当町増の九十六万三千八百円と増えています。ご存じのとおり共同募金は社会福祉施設、団体活動など社会福祉面で国の手の

とどかない分野で、民間の手によって充実させるために使われているものです。共同募金会では、目下、自治会長さんにお願ひして募金中です。みなさんのあなたがい手をさしのべましょう。

海流(森村誠一) 誰も言わなかったカメラ術(楠山忠之) 続々逆転の発想(糸川英夫) 銀行家の陰謀(レスリー・ウォーラー) 土俵わが青春(若三杉寿人) 巷の奇人たち(藤本義一) 貝のうた(沢村貞子) 童児(津島祐子) サザエさん(長谷川町子) 野性の証明(森村誠一) 雪の登(シ) 超高層ホテル殺人事件(シ) 発信人は死者(西村京太郎) ゼロの焦点(松本清張) 影の地帯(シ) 茜雲の渦(黒岩重吾) 賢沢な被葬者(シ) やさぐれ刑事(藤本義一) 総会屋(三好徹) あきらめの哲学(森岡外(吉野俊彦) 春の鐘(下(立原正秋) 戦後日本の政財界をダメにした四人の首領(青谷和久) 男と女の風景(見城美枝子) 空の城(松本清張) 破綻(保坂正康) 虚空王の秘宝(半村良) 地底元年(原さとし) 大都市電話番号簿(東京・大阪ほか(電々公社) 新潮日本古典集成(とわ) ずがたり(福田秀一) 馬鹿一(武者小路実篤) 菅江真澄と秋田(真澄百五十年祭実行委員会) 秋田のわらべ唄(佐々木正元ほか) 北国(のわらべ唄(平野庄司) 秋田現代詩選集(秋田現代詩選集刊行委員会) 世界の民話(解説編(小沢俊夫) シイタケ栽培の改善法(大森清寿) 家畜の病気便覧(関

根宝吉ほか) タバコ栽培の新技術(大森和信ほか) 兼業農家のイネづくり(阿部忠三郎ほか) 豚の飼養管理(和島昭一郎) 乳牛の新しいエサ給与方法(鈴木茂) 野菜の土壌病害(松田明) 野菜の転作栽培(窪吉永) 日本畜産と飼料の自給(吉田寛一ほか) 日本農業の進路(農文協編) 野菜の流通と値段的しくみ(山口照雄) 成功する小農経営(農文協) 小農はなぜ強い(守田志郎) 田植機稲作の安定技術(赤松勇一) イネづくりの十二ヶ月(渡辺正信) 新しい稲作増収の理論(農文協) イネづくりの基礎(農文協編) イネの病害虫(岡本大二郎) 雑穀取り入れ方とつくり方(浅間和夫ほか) ジャガイモのつくり方(坂井健吉) ダイズのつくり方(獅子柴公人) 野菜つくり相談室(水口文夫ほか) 野菜の上手なつくり方(岩間誠造) 果菜の断根さしき育苗(植木正敬) ハウスの土壌管理(嶋田永生) 野菜・花のビニール栽培(松原茂樹) 自給飼料全科(須藤造) 牧草つくり方と使い方(山根一郎ほか) サイレージのつくり方(安藤文桜ほか) 乳牛の健康と飼料計算(渡辺高俊) エサ高をのりきる飼料対策(飯田克実) 薬用植物栽培全科(藤田早苗之助) タバコの栽培(村岡洋

(-) 児童図書
赤いシカの伝説(PHP研究所) シンデレラひめ。しらゆきひめ。おやゆびひめ。あかぎんちゃん。ぶんぶくちやがま。かちかちやま。したきりすずめ。こぶとりじいさん。かたかなアイウエオ。まるしやくさんかくさん。さーかす123。あいうえお(以上あかね書房版) 先生のおとどろだい(理論社) こどもアニメえほん11(ポプラ社) お天気かんさつ入門(小学館) 世界の秘宝(集英社) どうぶつ折り紙、折り紙あそび(徳間書店) 野球(若木書店) ゲームチャンピオン、愛の少女名作ベスト7、密室殺人ベスト8、長嶋・王の野球教育、こん虫の探検者フェアブル、とんちおしやう一休、他国にほころ医学者野口英世(以上学研版) 動物のなぞ、飛行機(立風書房) まんが日本絵巻11(3(東邦出版社)

読書感想文 切十一月十五日

農地の相談は

毎月 23日 13日 3日 に

これまで農業委員会の業務は、米内沢と前田に分かれてそれぞれ実施してきましたが、五十一年四月から本庁で一切の事務を取り扱っています。

特に前田地区の農家の方には、大変不自由をかけていると思いますので、できるだけこの問題解消の意味で毎月三回農地相談日を定め、農地行政全般の取り扱い相談に際することにしたので、特別の場合を除き、この日を利用くださるようお願いいたします。

▼相談日：毎月三日、十三日、二十三日（前田の市日の日とします。ただし、当日が日曜、祭日の場合は前日とします。）

ハシカの予防接種

のお知らせ

麻疹は別名ハシカと呼ばれる伝染病で、小学校の低学年までにはほとんどかかり、一度かかると免疫ができます。ハシカは軽い病気と考えられがちですが、気管支炎、肺炎、中耳炎を併発しやすく、特に大きくなってからかかると重症になりがちです。町では予防接種法の改正

に伴い、麻疹の定期予防接種を次のとおり実施することになりましたので、希望する方は役場衛生係へ問い合わせのうえ、接種を受けようになしてください。

※対象者：生後十八か月から三十六か月までの幼児（ただし、生後十二か月から七十二か月に至る幼児も受けられます。）

※接種料：一件三、七四七円（全額町負担の予定）

※日 時：五十四年一月下旬（予定）

※場所：米内沢公民館、前田集落センター（予定）

妊娠したら早めに

母子手帳をもらおう

毎月第一、第三水曜日に交付しています。交付日が祝祭日のときは次の日になります。必ず本人がきてください。

◎場所：役場保険衛生課（支所では交付しません）

11月1日午後二時から

電話のかけかた

が変わります

森吉郵便局の電話が自動化、また町内の地域集団電話も一般電話に切り替えることになりました。十一月一日午後二時に切り替えと同時に、森吉町全町内が市内通話となり、市内局番、加入者番号の五桁（五回）ダイヤルでつながるようになります。

森吉局 六一××××

前田局 五一××××

米内沢局 二一××××

電話のかけかたで、新しい番号を取録した臨時電話帳を電報電話局の窓口用意し、必要な方へ差しあげておりますからご利用ください。

なお、森吉町および地域集団電話加入者には、「かけた説明会」でお渡します。

技能検定「国家検定」

のお知らせ

消費者が商品の購入、または工事の発注等をするときにその目安として技能士が高く評価される時代になってきました。技能向上のためふるって受検しよう。

今年度後期の受検受付は十月十一日から三十日まで各地区の技能センターや秋田県技能検定協会で行います。

検定職種は、農業機械整備や建築大工及び、配管など三十五作業が行われます。手続きや受検資格などについては、次に照会してください。◎県庁職業訓練課（〇六〇一七三三）

各職業訓練校、各地区技能センター、技能検定協会。

旧軽免許の所持者へ

警察署からお知らせ

旧軽免許で、まだ限定解除の審査に合格されていない方々の審査が九月二十一日から受けやすくなりました。くわしくは警察署へ。

町営住宅の入居者を

募集中です

入居したい方は、指定の申込書を役場窓口へ提出してください。

記

- 一、募集住宅 松山町九号
二、入居資格 月収四万七千円以上、八万一千円以下（但し法定控除後の金額）で住宅に困っている方。
三、家賃 月二千五百円
四、募集期限 十月末日

善意

香典がえしとして

次のかたがたから、社会福祉協議会に善意が届けられました。このご厚志に感謝を申し上げます。
二〇〇、〇〇〇円 本 丁 宮越 龍一
五〇、〇〇〇円 桂 瀬 加賀 薫
二〇、〇〇〇円 本 丁 金 恵子
二〇、〇〇〇円 冷 水 森川清五郎
二〇、〇〇〇円 森 吉 播磨静一郎
一〇、〇〇〇円 神 成 佐藤 光夫

寄付金

- 三〇、六九〇円 米内沢本郷生徒一同
二五、八三八円 (菅原神社祭典行事として)
米高生徒会とJRC一同
一一、四一〇円 米高定時制生徒会一同
(米高祭チャリティーバザールの収益金を)

慶弔

お誕生おめでとう

- 櫻田 雅樹(良太郎) 七曲
武石 希(広 則) 日栄
庄司 満久(克 宣) 小又
野村 望(金 蔵) 神成

ご結婚おめでとう

- 岩谷 政雄 鷹巣町
木村 純子 松山町
奈良田喜也 鷹巣町
田牧 里美 大杉
九島 吉英 七曲
藤原 峰子 大館市
庄司 利重 桂 坂
渡辺マリ子 秋田市
沢田 耕市 鷹巣町
新林 志照 小 滝
庄司 芳美 惣 内
柴田 京子 合川町
白沢 満雄 桂 瀬
畠山 久孝 白 坂
吉田 勝義 羽根川
三浦 久子 根森田

ご冥福をお祈りします

- 木村 スエ(83) 日 栄
武石 直助(75) 大 淵
宮越 啓治(89) 本 丁
庄司 智子(0) 松山町
王藤 きぬ(66) 新 町
佐藤 フミ(91) 神 成
森川 フサ(42) 小 又
播磨和 一郎(74) 森 吉
加賀 勝雄(73) 桂 瀬
吉田 西松(69) 惣 瀬
土佐徳之助(79) 桐内沢